

探究の集大成！総合的な探究の時間 最終発表会を開催

2 月 26 日、能登高校にて「総合的な探究の時間（総探）」の最終発表会が開催されました。能登高校では、1 年を通じて「地域を元気にする」をテーマに、生徒一人ひとりが興味や疑問をもとに課題を設定し、探究を進めてきました。この最終発表会では、その集大成として、生徒たちが自らの成果を発表しました。

午前の部では、各チームが教室で自分たちの探究について説明し、午後の部では選ばれた代表 4 チームが体育館でプレゼンテーションを行いました。地域の大人や保護者の皆さんも見学に訪れ、生徒たちの挑戦を見守りました。

最優秀賞は地域デザイン班！

今年度の最優秀賞は、「仕事がないことを理由とした町外への人口流出」という課題に取り組んだ地域デザイン班が受賞しました。

地域デザイン班の生徒たちは、「自分たち自身が能登の仕事を知らない」という気づきを出発点とし、町内の仕事を紹介する「仕事図鑑」を作成しました。この図鑑では、能登で活躍する職業人の仕事内容や働く上でのやりがいを紹介。生徒たちは、情報収集から取材交渉、記事の執筆、デザイン、印刷までをすべて自分たちの手で行いました。

取材を通じて、地域の仕事の魅力や、能登で働くことの意義を知った生徒たちは、「能登にはまだまだ知らない魅力的な仕事がたくさんある」「仕事の選択肢が増えれば、地元に残る人も増えるのでは」と、地域への理解を深めていました。完成した仕事図鑑は、能登高校生だけでなく、能登町役場、町内の中学校、まちなか鳳雛塾にも広める予定です。

発表では、取材の過程や地域とのつながりを強調し、仕事図鑑を作成することで地域の未来にどう貢献できるかをわかりやすく伝えました。堂々としたプレゼンテーションや質疑応答の対応も評価され、見事、最優秀賞に輝きました。

地域とともに、これからも探究を続けていく

発表会后、地域の方々からは「生徒たちが地域をより良くしようと考え、真剣に取り組んでいる姿が頼もしく感じた」という声が聞かれました。高校生たちは、地域の課題を知り、自ら考え、行動する中で、多くの学びを得ています。今後も、地域と連携しながら探究活動を発展させ、高校生の挑戦がより大きな成果へとつながるようサポートしていきます。

今年度の能登高校「総合的な探究の時間」にご協力いただいたすべての方々に心より感謝を申し上げます。総探の授業を作り上げた先生方、温かく見守ってくださった地域の皆さま、そして生徒たちの探究を応援してくださったすべての方々のおかげで、無事に発表会を終えることができました。

そして何より、一年間の探究活動に真剣に取り組み、試行錯誤を重ねながら学びを深めてきた能登高生のみなさん、本当にお疲れさまでした。自ら問いを立て、行動し、発表するという経験は、今後の人生において大きな力となるはずです。この探究で得た学びを次のステップへとつなげ、さらなる成長を期待しています。

能登高校生たちのこれからの挑戦に、ぜひご注目ください！



▲総探最終発表会

2024 年度まちなか鳳雛塾 塾生合格情報

受験シーズンもひと段落し、まちなか鳳雛塾でも嬉しい知らせが届いています。これまで積み重ねてきた努力が実を結び、見事に合格を勝ち取った塾生たち。本当におめでとうございます。切磋琢磨して勉強に励み、困難にも負けずに前を向いて取り組んできた姿をずっと見てきたからこそ、一層喜びを感じます。結果が思うようにいかなかった生徒も、ここまで頑張ってきたことは決して無駄にはなりません。挑戦し続けた経験は、これからの成長にきっとつながっていきます。これまでの努力を誇りに思い、次の目標に向かって進んでいきましょう。以下に、今年度のまちなか鳳雛塾の塾生合格情報をご紹介します。

大学 / 専門学校合格情報

金沢大学 理系一括入試

関西学院大学 工学部 情報工学課程

中央大学 国際経営学部 国際経営学科

金沢工業大学 情報工学部 スカラシップメンバー特待 東京スイーツ & カフェ専門学校

石川県立看護大学 看護学部

金沢医科大学 看護学部

国立波方海上技術短期大学校

金沢看護専門学校 看護学科

英検合格情報

2 級 1 名 / 準 2 級 2 名 / 4 級 1 名

高校魅力化勉強会を開催しました

3 月 7 日（金）、能登町役場 4 階の全員協議会室にて、高校魅力化勉強会が開催されました。この勉強会は、能登高校のさらなる魅力化を目指し、町や教育関係者が一堂に会して意見交換を行う場として企画されました。当日は、NPO カタリバ代表の今村久美さんや、大槌町教育専門官であり岩手県高校魅力化プロデューサーの菅野祐太さんをはじめ、県教育委員会の関係者、町の執行部、高校管理職、そして魅力化スタッフが集まりました。さまざまな立場の方が参加し、能登高校の未来を考える充実した時間となりました。

岩手県・大槌高校の取り組みを学ぶ

勉強会の前半では、岩手県大槌町・大槌高校での魅力化事例が共有されました。復興支援と地域連携を軸に進められている取り組みについて、具体的な実践内容や成果が紹介され、その後、質疑応答を通じて活発な意見交換が行われました。特に、大槌高校が「地域を育てる教育の拠点」として機能している点は、能登高校の未来像を考える上で大変参考になりました。教育と地域づくりが一体となった取り組みは、能登高校が目指すべき方向性を考えるきっかけとなりました。また、地域住民から町のあり方について話を聞くことの大切さを学びました。

能登高校の未来を考える

後半では「能登高校の未来を考える」というテーマで意見交換を行いました。特に、県外や町外からの入学者を増やすための方法が議論され、高校の魅力づくりが鍵となることが確認されました。カリキュラム改革や入試制度の見直しといった具体策も挙がり、能登高校が多様な生徒を受け入れるための取り組みが求められています。

また「復興人財育成」をテーマに、能登高校が地域と連携しながら社会教育の拠点となっていくためには何が必要かを話し合いました。能登町だけでなく、奥能登地域全体の成長を見据えた取り組みを進めるため、地域コンソーシアムの構築を含めた改善案が議論されました。

おしらせ

この度、まちなか鳳雛塾では令和 7 年 3 月 31 日をもって中学生の受け入れを終了しました。今月から、週 1 回程度を目安として、中学生対象の自習開放日（無料）を設けます。今月の解放日は 4/9(水)・4/16(水)です。